

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	: 1,4-ジオキサン
会社情報	
会社名	: 関東化学株式会社
住 所	: 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 2-2-1
担当部門	: 試薬事業本部 企画管理部 資料課
電話番号	: (0120)260-489
FAX番号	: (03)3241-1047
メールアドレス	: BC32@kanto.co.jp
整理番号	: 10425
SDS 適用製品番号	: 10294, 10425, 11337, 2967-1B
推奨用途	: 試験研究用
使用上の制限	: 推奨用途以外で使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的危険性	引火性液体	区分 2
健康有害性	急性毒性（吸入：蒸気）	区分 4
	皮膚腐食性／刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2A
	発がん性	区分 1B
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 1（中枢神経系）
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 3（麻酔作用）
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 3（気道刺激性）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 1（腎臓、肝臓、中枢神経系）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 2（呼吸器）

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 引火性の高い液体及び蒸気
皮膚刺激
強い眼刺激
吸入すると有害
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
発がんのおそれ
臓器の障害（中枢神経系）
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（腎臓、肝臓、中枢神経系）
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（呼吸器）

注意書き

安全対策	: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 容器を密閉しておくこと。 容器を接地しアースをとること。 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する措置を講ずること。 ミスト／蒸気を吸入しないこと。 取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
応急措置	: 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。 皮膚（又は髪）に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。 皮膚を水で洗うこと。 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察／手当てを受けること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察／手当てを受けること。 眼の刺激が続く場合: 医師の診察／手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
保管	: 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 施錠して保管すること。
廃棄	: 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 物質
別名	: ジエチレンジオキシド

化学名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS RN
			化審法番号	安衛法番号	
1,4-ジオキサン	≥ 99	C4H8O2	5-839	既存化学物質	123-91-1

安定剤として BHT を含有。

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合	: 直ちに新鮮な空気の場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。必要に応じて医師の処置を受ける。
皮膚に付着した場合	: 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
眼に入った場合	: 直ちに流水で 15 分間以上洗い流し、必要に応じて眼科医の処置を受ける。
飲み込んだ場合	: 揮発性があるので、吐き出させるとかえって肺の吸引などの危険性が増す。速やかに医師の処置を受ける。水で口の中を洗わせてもよい。
応急措置をする者の保護	: 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂、泡
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
消火作業は、風上から行う。
初期の火災には、粉末・二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災の際には、泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。
- 消火を行う者の保護 : 呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置 : 作業の際は適切な保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。露出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法 : 漏洩した液はけいそう土などに吸着させて、空容器に回収する。漏洩した場所は、水で十分に洗い流す。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 皮膚に付いたり、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。火気厳禁。
作業場所の換気を十分行う。
- 安全取扱注意事項 : 密閉された装置、機械、または局所排気装置を使用する。取扱いは換気のよい場所で行なう。
酸化剤と接触させない。

保管

- 安全な保管条件 : 容器は密栓して冷暗所に保管する。
- 安全な容器包装材料 : ガラス、ふっ素樹脂、ステンレス。
塩化ビニル樹脂、ポリスチレン、銅などは使用しない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	10 ppm
産衛学会 許容濃度	3.6 mg/m ³
産衛学会 許容濃度	1 ppm
特記事項 (JP)	経皮吸収性がある
ACGIH TWA	20 ppm
留意点 (ACGIH)	Skin

設備対策 : 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具 : 必要に応じて防毒マスク(有機ガス用)または送気マスク

手の保護具 : 不浸透性保護手袋

眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護衣(長袖作業衣)、保護長靴、保護服等

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体
色 : 無色
臭い : エーテル様臭
pH : データなし
融点 : 11.8 °C
凝固点 : ≥ 11 °C
沸点 : 101.32 °C
引火点 : 12.2 °C (C.C.)
自然発火点 : 180 °C
分解温度 : データなし
可燃性 : 引火性
蒸気圧 : 38.7 hPa (20°C)
相対密度 : データなし
密度 : 1.030 - 1.035 g/cm³ (20°C)
相対ガス密度 : 3
溶解度 : 水: 自由に混合。有機溶媒: 多くの有機溶剤に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (log Pow) : -2.7
爆発限界 (vol %) : 1.97 - 22.5 vol %
動粘性率 : 1.27 mm²/s (20°C)
粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 比較的安定した化合物であるが、強酸、強酸化剤とは高温、高圧の条件で反応し開環する。
化学的安定性 : 通常条件で安定である。
危険有害反応可能性 : 空気中の酸素と反応し、爆発性の過酸化物を生成する。
避けるべき条件 : 日光、熱。
混触危険物質 : 強酸、強酸化剤。
危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口) : 区分に該当しない
ラット LD50=4200mg/kg
急性毒性 (経皮) : 区分に該当しない
ラット LD50=2100mg/kg

急性毒性（吸入）	: 区分に該当しない（気体） 吸入すると有害（蒸気） ラット LC50=9158ppm/4h 分類できない（粉じん、ミスト）
皮膚腐食性／刺激性	: 皮膚刺激 ウサギを用いた皮膚刺激性試験（開放ドレイズ試験）で「中等度の刺激」、ウサギ、ラット及びマウスを用いた皮膚刺激性試験でわずかな刺激との記述から、区分2とした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 強い眼刺激 ヒトへの健康影響のデータから、明確な陽性反応がみられるが、程度が腐食性との記載はない。また、ウサギを用いた眼刺激性試験では「強度の結膜浮腫、わずかな角膜混濁、結膜発赤（8日後に結膜発赤が一部残存）」との記述から、区分2Aとした。
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない モルモットを用いた皮膚感作性試験（Directive84/449/EEC, B.6）（GLP）において感作性なしとの結果が得られているが、ヒトのパッチテストで陽性との結果も得られており、明確な分類はできない。
生殖細胞変異原性	: 区分に該当しない マウスの強制経口投与と小核試験で陽性、陰性の結果があるが、試験の信頼性から区分に該当しないとした。なお、ラット肝のDNA損傷試験、DNA合成試験、DNA修復試験で陽性、エームス試験、マウスリンフォーマ試験、染色体異常試験では、陰性である。
発がん性	: 発がんのおそれ ヒトを対象として発がん性を示す十分な報告はない。ラットを用いたがん原性試験（2年間飲水投与）において、雌雄の投与群には鼻腔の悪性腫瘍（主として扁平上皮癌）、肝細胞腺腫及び肝細胞がんの発生増加が認められ、雄投与群には加えて腹膜の中皮腫の発生増加も認められたとの報告がある。雄F344ラットに本物質蒸気を2年間吸入ばく露した試験では鼻腔の扁平上皮がん、肝細胞腺腫、腹膜の中皮腫、の発生増加がみられたとの報告がある。以上より、区分1Bとした。
生殖毒性	: 分類できない ラットの器官形成期に経口あるいは吸入投与した試験において、一部で胎仔の重量減少と化骨遅延が認められたのみで仔の発生に対し悪影響は報告されていない。しかし、親動物の性機能および生殖能に及ぼす影響についてはデータ不足のため、「分類できない」とした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 臓器の障害（中枢神経系） 眠気又はめまいのおそれ 呼吸器への刺激のおそれ ヒトで吸入により、めまい、眠気、意識喪失などの症状に基づき区分1（中枢神経系）とし、かつ、ラットに155 mg/Lを吸入ばく露、またはウサギに6600 mg/kgを経口投与後の症状として麻酔の記載があることから、区分3（麻酔作用）とした。一方、ヒトのばく露で鼻および咽喉に対し刺激性を示す報告が複数あり、また、ラットに吸入ばく露した試験でも気道粘膜に対する刺激が観察されていることから、区分3（気道刺激性）とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（腎臓、肝臓、中枢神経系） 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（呼吸器） 本物質を使用した作業で死亡した5人について、腎臓の出血と壊死ならびに肝臓の壊死が報告されていること、さらに、換気設備のない密室で1週間本物質にばく露された1人の作業員が筋緊張亢進、神経症状、腎不全、腎臓皮質の壊死、重度の肝臓の小葉中心性壊死、脳に脱髄と神経線維の部分的欠損を示したとの報告があることに基づき、区分1（腎臓、肝臓、中枢神経系）とした。一方、ラットを用いた2年間の経口投与試験で気道上皮の変性が16 mg/kg/dayで認められたとの記述があることから、区分2（呼吸器）とした。

誤えん有害性 : 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性） : 区分に該当しない
魚類（ヒメダカ）LC50>100mg/L/96h
水生環境有害性 長期（慢性） : 区分に該当しない

残留性・分解性

難分解性
BOD : 0%

生体蓄積性

低濃縮性
BCF : 0.23-0.6 (10mg/L), 0.3-0.7 (1mg/L)

土壌中の移動性

高移動性
Koc : 1.23

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : スクラバーを具備した焼却炉で焼却処理を行う。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。
汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上輸送 (IMDG)

国連番号 (IMDG) : 1165
正式品名 (IMDG) : DIOXANE
容器等級 (IMDG) : II
輸送危険物分類 (IMDG) : 3

航空輸送 (IATA)

国連番号 (IATA) : 1165
正式品名 (IATA) : Dioxane
容器等級 (IATA) : II
輸送危険物分類 (IATA) : 3

海洋汚染物質 : 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

汚染物質カテゴリー : Y

国内規制

陸上規制 : 消防法、毒物及び劇物取締法、道路法の規定に従う。
海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
その他の情報 : 補足情報なし
緊急時応急措置指針番号 : 127

15. 適用法令

国内法令

化審法	: 優先評価化学物質（法第2条第5項）
労働安全衛生法	: 特定化学物質第2類物質、特別有機溶剤等（特定化学物質障害予防規則第2条第1項第2号、第3の2号、第3の3号） 危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号） 健康障害防止指針公表物質（法第28条第3項・厚労省指針公示） 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） 1, 4-ジオキサン（政令番号：227） 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2）（2025年4月1日以降） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2）（2025年4月1日以降） 1, 4-ジオキサン 特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質（令和5年7月4日基発0704第1号・4該当物質の一覧）
毒物及び劇物取締法	: 非該当
水質汚濁防止法	: 有害物質（法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条）
消防法	: 第4類引火性液体、第一石油類水溶性液体（法第2条第7項危険物別表第1・第4類）
海洋汚染防止法	: 有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第1）
船舶安全法	: 引火性液体類（危規則第2, 3条危険物告示別表第1）
航空法	: 引火性液体（施行規則第194条危険物告示別表第1）
港則法	: その他の危険物・引火性液体類（法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表）
道路法	: 車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	: 第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1） 1, 4-ジオキサン（管理番号：150）（100%）

16. その他の情報

参考文献	: 溶剤ハンドブック、浅原照三 他編、講談社（1976）。 危険物ハンドブック、ギンター・ホンメル編 シュプリンガー・フェアラーク東京（1991）。 17322の化学商品、化学工業日報社（2022）。 NITE化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIIP）、独立行政法人製品評価技術基盤機構。
------	---

*この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート（SDS）は、JIS Z7253に基づいて作成しております。